

背景画像の位置

`background-position` プロパティで背景画像の初期位置を指定します。水平位置と垂直位置の一方または両方を指定でき、指定する値はキーワード（水平位置：`left`、`center`、`right` と 垂直位置：`top`、`center`、`bottom`）か数値（`percentage`、`length`）で行います。指定最初の値が水平位置、2番目の値が垂直位置を表します。指定する値がひとつであれば、2番目の値は `center` とみなされます。`background-position` は `background-position-horizontal` と `background-position-vertical` のショートハンドです。

水平位置と垂直位置をキーワードで指定する場合は順序が逆でもかまいません。例えば、`top left` と `left top` は、どちらも有効です。両方またはいずれか一方を `percentage` や `length` の数値で指定する場合は最初の値が水平位置、2番目の値が垂直位置でなければなりません。例えば、`left 0` は有効ですが、`0 left` は無効です。

水平方向の位置は、次のように指定します。

- ・ `<percentage>`：画像の左から `x%` の位置が、エリアのパディング長方形の `x%` の位置に配置される。
- ・ `<length>`：要素のパディング長方形の左上隅から画像の左上隅の水平方向のオフセット。
- ・ `left`：0% と同じ。
- ・ `center`：50% と同じ。
- ・ `right`：100% と同じ。

垂直方向の位置は、次のように指定します。

- ・ `<percentage>`：画像の上から `x%` の位置が、エリアのパディング長方形の上から `x%` の位置に配置される。
- ・ `<length>`：要素のパディング長方形の左上隅から画像の左上隅の垂直方向のオフセット。
- ・ `top`：0% と同じ。
- ・ `center`：50% と同じ。
- ・ `bottom`：100% と同じ。

`percentage` と `length` には負の値も指定できます。

次の図は、位置のキーワード値と `percentage` 値の効果を表しています。各正方形の画像にある太い線の交点が画像の位置合わせのポイントになります。

